

## 【宇宙基本計画工程表(平成27年度改訂)(平成27年12月8日宇宙開発戦略本部決定)】

ISSの新たな利用形態の実現やISSによるアジア諸国との連携強化等に資する新たな日米協力の枠組について米国政府との合意を得て、平成33年以降平成36年(2021年以降2024年)までのISS延長への参加を決定することとした。米国政府との合意を得て、HTV-Xの開発に着手する。

## 【日米合意文書に関する署名式の実施】

昨年12月22日、島尻宇宙政策担当大臣・岸田外務大臣及び馳文部科学大臣と、ケネディ駐日米国大使との間で我が国のISSの2021～2024年の運用延長に関し、新たな日米協力の枠組として、「日米オープン・プラットフォーム・パートナーシップ・プログラム(JP-US OP3)」を構築することを主たる内容とする文書に署名。2024年までの我が国のISS運用延長への参加が決定。



## 【新たな宇宙ステーション補給機(HTV-X)の予算案計上】

2024年までのISS延長への参加決定を受けて、ISSへの輸送コストの大幅な削減を実現すると同時に、将来への波及性を持たせた新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)を開発するため、平成28年度予算案に必要な額を計上。



平成28年度政府予算案:20億円  
開発期間:平成28年度～33年度  
打ち上げ予定:平成33年度  
総開発費:350億円